

学校法人至学館 平成23年度決算概要

平成23年度決算計算書類は、「学校法人会計基準（文部省令 第18号）」に従って作成し、監査法人及び学園監事の監査を経て、5月26日に開催された理事会・評議員会で承認され決定し、6月26日に文部科学省に提出しております。

【はじめに】

平成23年度は、大学、短期大学部での男女共学化並びに学部改組から2年目を迎え、ソフト、ハード両面での整備を進めてきました。また、新しい教育理念「人間力の形成」に基づいた教育の実践にあたっては、「人間力開発センター（新設）」を組織化し、完成年度に向けて新たな教育システムの構築に取り組んでいるところです。こうした中、学生募集も順調に推移していますが、増加する男子学生の課外活動面での対応や社会経済の悪化による経済的困窮学生の増加への対応なども今後の課題となっています。

一方、高等学校では、硬式野球部が悲願の甲子園出場を果たし、全校がその快挙に沸き立つというトピックスに加え、かねてからの取り組みであるワンランクアップの教育基盤の創出（確かな学力の育成）についても着実な成果が挙がってきています。

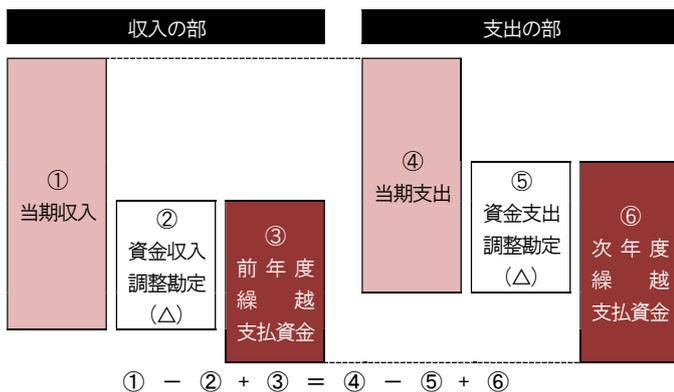
幼稚園においては、大学のこども健康・教育学科と連携しながら日常の教育や諸行事を展開し、また、保護者のための公開講座を企画するなどして他の幼稚園との差別化を図りながら教育活動を積極的に進めています。

以上のような状況の中、本法人の財政においては、「将来の大型財政需要に備えた資金の確保」、「既設老朽施設設備の修繕等経費の確保」、「教職員の人件費の確保」というかねてからの課題があります。この課題を踏まえつつ、各設置校における教育の質の向上、学生、生徒、園児の募集活動に今後も注力し、着実に歩みを進めていく所存です。

【資金収支計算書】

この計算書は、あらゆるお金の出入りを表しています。しかし、実際のお金の出入りのみを表現する（現金主義）のでは、その年度の本当の活動状態がわからなくなります。そこで、当年度に発生する収入、支出を一旦表示し（発生主義）、そのうえで調整勘定を使い、期末未収入金や前期末前受金、期末未払金や前期末前払金の調整を行い、現金主義と発生主義の折衷を図っています。

●資金収支計算書の構造図及び各科目概要



《収入の部概要》

- ①学生生徒納付金収入／授業料収入、入学金収入や教育充実費収入等が含まれ、学生・生徒・園児の在籍者数とほぼ比例関係にあります。前年度比1億円強の増加となりました。
- ②手数料収入／平成24年度入学・入園に係る検定料収入等が計上され、学生・生徒・園児の志願者数とほぼ比例関係にあります。
- ③寄付金収入／学園に対し、教育後援会や卒業生、一般の方から頂戴した現金によるご寄付等が計上されています。
- ④補助金収入／国、県等からの経常費補助金や、高校、幼稚園への授業料軽減補助金等が含まれます。平成23年度は高等学校の生徒数増加などを主要因

I. 資金収支計算書

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
収入の部			
①学生生徒等納付金収入	2,352,298	2,359,789	-4,491
②手数料収入	69,508	76,225	-6,717
③寄付金収入	2,200	3,160	-960
④補助金収入	778,456	800,897	-22,441
⑤資産運用収入	7,070	10,427	-3,357
⑥事業収入	33,375	34,505	-1,130
⑦雑収入	138,830	136,752	2,078
⑧借入金収入	0	5,681	-5,681
⑨前受金収入	498,465	525,000	-26,535
⑩その他の収入	281,490	293,645	-12,155
⑪資金収入調整勘定	-631,045	-659,535	28,490
⑫前年度繰越支払資金	2,358,791	2,358,791	
⑬収入の部合計	5,889,438	5,942,337	-52,899
支出の部			
①人件費支出	2,232,800	2,206,297	26,503
②教育研究経費支出	706,939	597,671	109,268
③管理経費支出	292,311	255,832	36,479
④借入金等利息支出	1,041	1,040	1
⑤借入金等返済支出	160,750	160,750	0
⑥施設関係支出	120,643	115,162	5,481
⑦設備関係支出	230,663	230,663	0
⑧資産運用支出	106,772	104,026	2,746
⑨その他の支出	118,665	118,665	
〔予備費〕※	(25,000)	-	
	0	-	0
⑩資金支出調整勘定	-194,560	-18,863	-5,697
⑪次年度繰越支払資金	2,113,415	2,341,094	-227,680
⑫支出の部合計	5,889,438	5,942,337	-52,899

に学園全体で約3,600万円増加しています。

⑤資産運用収入／保有資産に対する配当、利金、利息、設備利用料収入が計上されています。

⑥事業収入／寮費や受託研究等の収入となります。前年度比で寮費関係収入は減少したものの、文部科学省よりレスリング部のトップアスリート育成に関する事業受託があり、約500万円の増加となりました。

⑧雑収入／退職金支出に対する、退職金財団からの交付金等です。

⑨前受金収入／平成24年度新入生の前納学費等が中心となります。高等学校の入学者数の増加を中心に2,500万円程増加しました。

⑩その他の収入／前期末未収入金収入、預り金受入収入等を計上しています。

⑪資金収入調整勘定／各収入科目に計上されている金額のうち、期末未収入金、前期末前受金分を減額調整しています。

⑫前年度繰越支払資金／前年度から繰越した現預金(支払資金)です。

⑬収入の部合計は、①～⑫までの合計であり、支出の部合計⑫と同額となります。

《支出の部概要》

①人件費支出／専任教職員はじめ、非常勤講師、臨時職員、学生アルバイトへの給与、役員報酬等を計上しています。前年度に比べ、退職金支出を中心に、8,200万円弱の増加となっています。

②教育研究経費、③管理経費支出／それぞれ教育研究目的、管理目的の消耗品費、光熱水費、旅費、通信費など各種の経費が含まれています。平成23年度は大学の施設修繕費の増加などにより、前年度比約2,800万円の増加となりました。

④借入金等利息支出／平成21年度に借入れたグラウンド建設資金1億5千万円に対する利息が計上されています。当該借入金は、平成22年度より5年間で返済を行います。

⑤借入金等返済支出／上記の借入金の返済額3千万円に加え、高等学校授業料補助金等に対する会計処理上の金額が計上されています。

⑥施設関係支出／土地、建物、構築物の取得等に係る経費となります。平成23年度は、高等学校の西校舎の耐震改修工事並びに食堂厨房施設の改修工事の経費などが計上されています。

⑦設備関係支出／機器備品、図書等の取得経費となります。ネットワークサーバ（大学、高校）、や演習用PC（大学）の入替により、前年度比1億5,000万円程の支出増となりました。

⑧資産運用支出／資産運用用の有価証券購入費が計上されています。

⑨その他の支出／前期末未払金や預り金の支払支出等となります。

⑩資金支出調整勘定では、各支出科目に計上されている金額のうち、前期末前払金、期末未払金分を減額調整しています。

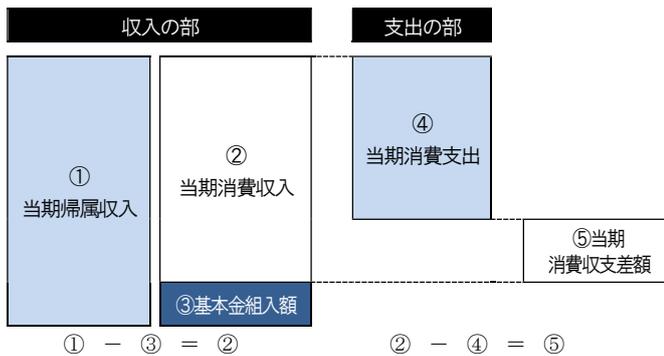
⑪次年度繰越支払資金は、次年度に繰越す現金預金（支払資金）です。平成23年度は、前年度より約1,700万円の減少となりました。

⑫支出の部合計は、①～⑫までの合計であり、収入の部合計⑬と同額となります。

【消費収支計算書】

この計算書は、当年度の経営状況を表すものです。収入・支出のそれぞれの科目は、資金収支計算書とほぼ同様ですが、収入では、負債を伴う収入、支出では、資産の取得に関する支出は計上されません。また、永続的に保持すべき資産の増加額については、基本金組入額として収入から控除しています。

●消費収支計算書の構造図及び各科目概要（資金収支と同様な科目を除く）



図は、①当期消費収入が④当期消費支出を上回り、その差額である⑤当期消費収支差額が収入超過となる理想的な状態を示していますが、平成23年度の本学の状況は②当期消費収入を④当期消費支出が上回り、消費支出超過額が発生しています。

《収入の部概要》

③寄付金／資金収支計算書にない、現物の寄付も計上されています。

⑧帰属収入合計／当年度の実質的な収入を表しています。学生生徒納付金の増加を中心に、前年度比約1億8,300万円の増加となっています。

⑨基本金組入れ額合計／施設、設備の更新、新規取得等による基本財産の増加分を基本金組入れ額として収入から控除するものです。今年度は、法人、大学、高校部門で基本財産の取得額が除却額を上回り、基本金の組入れが発生しています。

⑩消費収入の部合計／⑧帰属収入合計から、⑨基本金組入れ額合計を控除した額となります。

《支出の部概要》

①人件費支出／資金収支計算書と異なり、実際の支出以外に、将来的に必要となる退職金支給額の増減を考慮した退職給与引当金繰入額等を含んでいます。前年度比で約4,300万円の増加となっています。

②教育研究経費、③管理経費／資金収支計算書の内容に加え、減価償却費（計約2億800万円）等が計上されています。

⑤資産処分差額／老朽備品や図書などの除却額、保有有価証券の再評価による簿価との差額などが計上されています。

⑥消費支出の部合計／前年度比約6,400万円増加し、合計約32億7,200万円となりました。これにより

※①当年度消費支出超過額は、約4,300万円となりました。

※③基本金取崩額は、備品、図書の除却に伴う取崩によるものです。

以上により※④翌年度繰越消費支出超過額は約40億8,000万円となりました。

II. 消費収支計算書

（単位：千円）

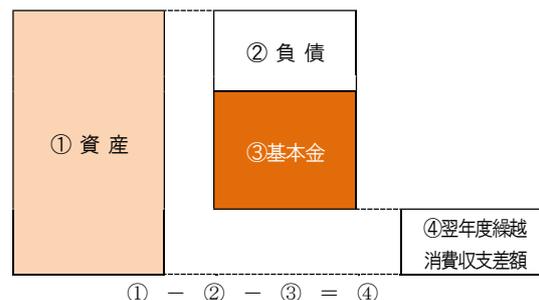
科目	予算	決算	差異
収入の部			
①学生生徒等納付金	2,352,298	2,356,789	-4,491
②手数料	69,508	76,225	-6,717
③寄付金	5,900	7,903	-2,003
④補助金	778,456	801,497	-23,041
⑤資産運用収入	7,070	10,427	-3,357
⑥事業収入	33,375	34,505	-1,130
⑦雑収入	138,830	135,916	2,914
⑧帰属収入合計	3,385,437	3,423,262	-37,825
⑨基本金組入額合計	-174,880	-194,409	19,530
⑩消費収入の部合計	3,210,557	3,228,852	-18,295
支出の部			
①人件費	2,195,826	2,167,118	28,708
②教育研究経費	902,230	794,766	107,464
③管理経費	303,916	267,470	36,445
④借入金等利息	1,041	1,040	1
⑤資産処分差額	73,720	41,346	32,374
〔予備費〕	(573)	-	-
	24,428	-	24,428
⑥消費支出の部合計	3,501,733	3,272,314	229,419

※①当年度消費支出超過額	291,176	43,462	-
※②前年度繰越消費支出超過額	4,037,259	4,037,259	-
※③基本金取崩額	0	872	-
※④翌年度繰越消費支出超過額	4,328,435	4,079,848	-

【貸借対照表】

この表は、期末における学園の財政状況（資産、負債、基本金等）を前年度末から今年度末への増減とともに示したものです。

●貸借対照表の構造および各科目の概要



図は、①資産額>②負債+③基本金となり、④翌年度繰越消費収支差額が収入超過となっていますが、本学は、①<②+③となり翌年度繰越消費支出超過額が発生しています。

《資産の部概要》

①有形固定資産は、土地、建物、設備、図書、備品等の簿価を示しています。平成23年度は、施設、設備投資額が除却や減価償却による減少額を上回り、約1億1,800万円の増加となりました。

②その他の固定資産は、有価証券をはじめ借地権、電話加入権などの保有額を示しています。有価証券（ユーロ債）の新規購入等により、対前年度比約8,200万円の増加となっています。この中には、有価証券の再評価による約1,700万円の減少が含まれています。

③流動資産は、現金預金、未収入金、前払金などが示されています。現金預金や未収入金の減少等があり、計8,200万円ほどの減少となりました。なお、約7億9,500万円ある未収入金のうち、約7億6,300万円は、愛知県からの

Ⅲ. 貸借対照表

(単位：千円)

科目	今年度末	前年度末	増 減
資産の部			
①有形固定資産	7,121,639	7,004,050	117,589
②その他の固定資産	462,936	380,614	82,321
③流動資産	3,153,613	3,239,094	-85,481
④資産の部合計	10,738,188	10,623,759	114,429
負債の部			
①固定負債	1,456,572	1,557,746	-101,174
②流動負債	830,305	765,650	64,655
③負債の部合計	2,286,878	2,323,396	-36,519
※①基本金の部合計	12,531,159	12,337,621	193,537
※②消費収支差額の部合計	-4,079,848	-4,037,259	-42,589
※③負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	10,738,188	10,623,759	114,429

授業料軽減補助金等（過年度分含）が未収入金として会計処理されることによるものです。これは、同額が借入金として負債科目にも表示されており、資産、負債の差引額には影響を及ぼしません。④資産の部合計は、対前年度比約1億1,400万円の増加となりました。

＜負債の部概要＞

①固定負債及び②流動負債では、本年度末の負債合計約23億2,300万円のうち、高等学校の授業料軽減補助金等約6億3,900万円を会計処理上、借入金として扱っており、実質的な負債は、退職給与引当金および、前受金を中心に合計約16億5,000万円となります。③負債の部合計では、県補助金の借入金計上額の減少に加え、設備投資資金に係る借入金の返済等により、前年度比約3,600万円の減少となりました。

※①基本金の部合計は、第一号基本金が約1億9,400万円増加しました。

※②消費収支差額の部合計は、翌年度繰越消費支出超過額が、約4,300万円増加し約40億8,000万円となりました。

平成23年度決算 資金収支計算書(経理単位別内訳表)

(単位 千円)

区 分	法人部門	大 学	短 大	高等学校	幼稚園	合 計
収入の部						
学生生徒等納付金収入		1,329,423	370,270	548,152	108,945	2,356,789
手数料収入		30,430	6,880	38,395	520	76,225
寄付金収入		2,768	262	130		3,160
補助金収入	400	182,194	45,730	514,597	58,576	801,497
国庫補助金収入	400	182,087	45,076	11,362		238,925
地方公共団体補助金収入		107	54	503,235	58,576	561,972
資産運用収入	354	5,408	1,333	2,918	414	10,427
事業収入		23,245	6,300		4,960	34,505
雑収入		34,503	29,599	70,753	1,898	136,752
借入金等収入				5,681		5,681
前受金収入		288,550	130,760	100,890	4,800	525,000
その他の収入	178	59,999	40,236	189,768	3,466	293,645
資金収入調整勘定		-315,101	-166,028	-172,905	-5,501	-659,535
計	931	1,641,417	465,342	1,298,379	178,077	3,584,146
前年度繰越支払資金						2,358,791
総合計						5,942,937

区 分	法人部門	大 学	短 大	高等学校	幼稚園	合 計
支出の部						
人件費支出	84,541	982,099	252,666	771,334	115,658	2,206,297
教員人件費支出		668,325	159,760	620,982	98,454	1,547,520
職員人件費支出	43,361	282,326	63,398	70,240	15,044	474,369
役員報酬支出	41,180					41,180
退職金支出		31,449	29,508	80,112	2,160	143,228
教育研究経費支出		351,312	57,793	168,573	19,994	597,671
管理経費支出	16,438	142,888	46,242	37,747	12,518	255,832
借入金利息支出		1,040				1,040
借入金等返済支出		30,200		130,550		160,750
施設関係支出		13,492	263	101,292	114	115,162
設備関係支出	91	166,789	32,545	29,280	1,959	230,663
資産運用支出	100,000	4,026				104,026
その他の支出	2,567	58,584	10,869	41,647	4,977	118,665
資金支出調整勘定	-7,342	-133,029	-30,436	-15,688	-2,367	-188,863
計	196,295	1,617,401	369,940	1,264,733	152,873	3,601,242
次年度繰越支払資金						2,341,694
総合計						5,942,937

注：百円単位の下捨五入により、各数値の計、差異が一部合致しない場合があります(以下同)

平成 23 年度決算 消費収支計算書(経理単位別内訳表)

(単位 千円)

区 分	法人部門	大 学	短 大	高等学校	幼稚園	合 計
収入の部						
学生生徒等納付金		1,329,423	370,270	548,152	108,945	2,356,789
手数料		30,430	6,880	38,395	520	76,225
寄付金		5,555	469	1,791	88	7,903
現物寄付金		2,787	207	1,661	88	4,743
補助金	400	182,194	45,730	514,597	58,576	801,497
資産運用収入	354	5,408	1,333	2,918	414	10,427
事業収入		23,245	6,300		4,960	34,505
雑収入		33,667	29,599	70,753	1,898	135,916
帰属収入合計	754	1,609,920	460,581	1,176,607	175,400	3,423,262
基本金組入れ額		-72,912	-6,960	-114,538		-194,409
消費収入合計	754	1,537,009	453,621	1,062,069	175,400	3,228,852

区 分	法人部門	大 学	短 大	高等学校	幼稚園	合 計
支出の部						
人件費	89,550	957,143	236,943	766,739	116,743	2,167,118
教育研究経費		481,159	78,533	208,733	26,341	794,766
管理経費	16,555	150,558	46,670	39,547	14,140	267,470
借入金等利息		1,040				1,040
資産処分差額	17,184	19,974	1,894	2,287	240	41,346
徴収不能引当金繰入額		572				572
消費支出合計	123,289	1,610,215	364,041	1,017,305	157,463	3,272,314

帰属収支差額	-122,535	-295	96,540	159,302	17,937	150,948
消費収支差額	-122,535	-73,206	89,580	44,764	17,937	-43,462

消費収支決算値推移(法人全体)

(単位 千円)

区 分	H19	H20	H21	H22	H23
収入の部					
学生生徒等納付金	2,317,608	2,175,995	2,085,998	2,255,814	2,356,789
手数料	53,880	52,613	65,901	69,509	76,225
寄付金	10,647	11,357	10,829	9,224	7,903
補助金	896,190	825,656	802,871	765,630	801,497
資産運用収入	12,573	14,503	14,529	7,947	10,427
資産売却差額	18	1,458			
事業収入	16,835	24,939	31,972	29,237	34,505
雑収入	84,442	9,317	135,202	103,117	135,916
帰属収入合計	3,392,194	3,115,839	3,147,281	3,240,479	3,423,262
基本金組入れ額	-227,051	-48,223	-13,519	-65,806	-194,409
消費収入合計	3,165,144	3,067,616	3,133,762	3,174,674	3,228,852

区 分	H19	H20	H21	H22	H23
支出の部					
人件費	2,103,302	2,033,662	2,133,119	2,124,091	2,167,118
教育研究経費	789,339	813,416	779,437	773,395	794,766
管理経費	258,917	223,187	395,470	267,386	267,470
借入金等利息	1,041		464	1,338	1,040
資産処分差額	42,134	53,653	97,735	42,205	41,346
徴収不能引当金繰入額					572
消費支出合計	3,197,372	3,123,918	3,306,223	3,208,415	3,272,314

帰属収支差額	186,743	-8,079	-158,943	32,064	150,948
消費収支差額	-32,229	-56,302	-172,462	-33,741	-43,462

※本書類の内容に関するお問い合わせは、経営管理局経理課(前田)までお願いいたします。